

原爆文学研究会事務局

〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1

福岡大学人文学部 中野和典研究室内

tel:092-871-6631 (代表) /e-mail:nakanok@fukuoka-u. ac. jp

第62回 原爆文学研究会のご案内

時下益々ご清栄のことと存じます。第62回原爆文学研究会を下記の要領で開催いたします。今回も新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、Web 会議システムを使ってオンラインで研究会を開きます。皆さまには、ご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

参加をご希望の方は2020年12月12日（土）までに「①研究会」「②懇親会」のそれぞれについて参加／不参加を明記して事務局にeメールでお申し込みください。今回も会場による人数制限はありませんが、オンラインでの会を円滑に行うために参加者は原則として本研究会の会員とその紹介者に限らせていただきます。後日、ご参加の申し込みをいただいた方のみミーティング情報をお伝えいたします。

記

○ 日時：2020年12月19日（土） 13：00～18：15

○ プログラム

12:30 開場

13:00 開会・自己紹介

13:20 戦後原民喜作品における自然——人間との関係をめぐって 後山 剛毅

14:40 (休憩 15分)

14:55 岡正治試論——本島等長崎市長との相違点を中心に 東村 岳史

16:15 (休憩 15分)

16:30 合評会 岡村幸宣『未来へ 原爆の囚丸木美術館学芸員 作業日誌2011—2016』

書評 柿木 伸之

書評 水溜 真由美

応答 岡村 幸宣

司会 楠田 剛士

18:00 事務局から

18:15 閉会

18:30 懇親会（※懇親会もオンラインで行います。参加費はもちろん無料です。）

※2021年分の会費（3000円）は後日お送りする会費納入のお願いに従って指定の口座へのお振り込みをお願いします。

※合評会のテキストは岡村幸宣『未来へ 原爆の囚丸木美術館学芸員 作業日誌2011—2016』（新宿書房、2020年3月）です。



書影（帯あり）



書影（帯なし）